

きんもくせい

編集目標 人間尊重の教育を求めて

平成26年 学校教育だより

May **5** 第321号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会

発行・埼玉県富士見市教育委員会

電話・049-251-2711 (内線622)



入学おめでとう～1年生を迎える会～

写真提供／諏訪小学校

天までのびろ

勝瀬小学校 五年

前田 晴人

のびろ

のびろ

天までのびろ

春には芽を出し

夏には葉がしげり

秋には色づき

冬には葉を落とし

地面に根をはり

きれいな水を

たくさんもらい

世界一の木に

ぼくは なる!!

一人一人にむきあう

特別支援学校では、平成二十一年度から、平成二十五年度の間に、新しい学習指導要領による学習が始まりました。

『自立と社会参加に向けた職業教育の充実』は、新しく示された四つの柱の一つです。これに、かわりの深い時間が、「作業学習」です。

また、特別支援学校では、すべての児童生徒に「個別の指導計画」があります。教科や学習の内容について、一人一人、個別の目標をたて、一人一人に合った個別の方法で、一人一人に必要な力をつける取り組みです。

『一人一人に応じた指導の充実』、これも、新しい柱の一つです。一人一人がわかる授業という視点から、高等部「作業学習」の取り組みを紹介します。

作業学習

特別支援学校には、「作業学習」の時間があります。

作業活動を学習の中心にしなが、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習するものです。

作業活動とは、農耕、園芸、紙工、木工、縫製、窯業、食品加工、クリーニングなどのほか、販売、清掃や接客なども含まれます。

富士見特別支援学校 教諭 河内 恵子

富士見特別支援学校の「作業学習」

富士見特別支援学校には、



関沢小学校 4年
河野 有咲

その日は満開の桜、小鳥のさえずり、友達の笑顔、そして待ちに待った始業式の日でした。私も一つ上の学年へ進級します。新しい先生、新しい友達、新しい教室で、1年間過ごす最初の日でもあります。私にとって新しい教室の扉は未来を決める扉のように感じられました。教

「新しい」を大切に

室の中には今まで知らなかった、たくさんの「新しい」があります。そしてこの「新しい」は、私を前へ前へと進めてくれます。これからの行事は新しい仲間と共にがんばっていきます。新しい先生に勉強を教わります。私はこの「新しい」を楽しみ、元気いっぱい生活していきたいと思います。



小学部・中学部・高等部があります。

「作業学習」に取り組んでいるのは、中学部と高等部で、学部ごとに学習に取り組んでいます。

中学部と高等部では、めざすものも、作業活動の内容も、異なります。中学部での学習の上に高等部の学習を積み重ね、卒業後の進路・就労へとつなげていきます。

【高等部の作業学習】

高等部の生徒は、一年生から三年生まで、あわせて十七名です。

卒業後は、ほぼ全員が、就労・施設を利用することになります。その進路先は、一般企業、福祉就労、ケア施設など様々です。

高等部の作業学習では、一人一人の卒業後の生活や進路先での職業生活を意識した目標をたてます。進路先で、実際に活かせる力をつけることが大切です。

ものを作る技能や、道具を使う技能ももちろん大切です。それだけでは困ります。他にも大切なねらいがあります。

一つめは、作業態度です。あいさつ、返事、報告、身支度などを具体的に身に付けます。作業活動の中で、作る喜び、働く喜びを体験し、集中力ややり通す力を育てます。

二つめは、教科などで学習したことを実際の場面でする力を培うことです。

三つめは、共に取り組む姿勢とその力です。

社会で生きていくためには、コミュニケーションをとり、お互いを認め合いながら協力して取り組む姿勢が必要です。

わかる授業 = 高等部「作業学習」=

特別支援学 働く力をつ

作業班の紹介

五つの班に分かれて、学習に取り組みます。

【農園芸班】

畑で、野菜を作ります。主な活動は、耕運機を使った畑づくり、種まき、間引き、追肥、収穫などです。

【木工班】

木を使って実用品を作ります。特にペンチ、箸は、人気があります。電動の工具も多く使うので、工具の使い方も学習します。

【手工芸班】

「さをり織り」という織物

を一本ずつ糸を通して織り上げます。その織物でミシンを使って、ポーチやペンケースを作ります。

【陶工班】

お皿、小鉢、花器、ランプシェードなど作ります。粘土が、お皿になるまでのすべての工程に取り組みます。

【エコ班】

校庭を電動芝刈り機できれいにします。秋には、落ち葉を集めて腐葉土を作ります。空き缶つぶしもしています。

【校内学習】

全員で、軽作業に取り組みます。福祉作業所から一部、になるかもしれません。社会生活での自立を目指す複式の生徒にとって、一番大切なコミュニケーション能力を養う機会が増えることは、とてもよいことです。

今後の複式学級は、切磋琢磨する中で、それぞれの個性を生かし、互いのよさを認め合える人間関係を築いていきます。そして、友達の頑張る姿を自己の行動意欲にかえて失敗覚悟の挑戦を敢えてしてもらいたいと考えています。



殿山にある複式学級の教室は、いつも明るく、優しさに包まれています。その理由は、担当の教員以外にも、多くの先生方からの励ましの声があることや、同年代の生徒の温かく、時に対等な関わり方が日常的に存在するからです。

学級では、昨年まで四名だった集団が、四月から八名になりました。初めは、緊張感

仕事を請け負っています。

一人一人に応じた指導

「十個ずつまとめる」

十まで数えることができない、十個ずつまとめることができます。

十個の枠がある箱を一つ用意します。十個入りの卵パックをイメージしてください。十個の枠の中に1つずつ入れていきます。「1個ずつ」を十回やれば、合わせて十個になります。



【見通しを持つ】

その時間の仕事（空き缶）をすべてたらいに出しておきます。たらいの中の缶を取り、つぶしたら、カゴに入れます。仕事をすると、カゴの中の缶が増えていきます。自分の行った仕事を見ることができ、す。たらいの中が空っぽになったら、その日の仕事は終わりです。

時計を読めなくても、活動の終わりがわかります。ただし、途中でたらいの中

に仕事を足してはいけません。ルールです。

見通しが持てることと、ルールが守られることで、自ら取り組みとうとする意欲は、ずいぶん変わります。

終わりに

「どうやったら、できるのか」という視点で考えていきます。その方法は、一人一人それぞれ違います。

一人一人のニーズにこたえ、学習内容を設定し、指導を構成することに、特別支援教育の醍醐味があります。

指導・講評
富士見特別支援学校校長
川勝 義彦

本校の高等部の作業学習は、木工や手工芸などの作業を通して、仲間と協力して手早く集中して丁寧に仕事に取り組み、責任をもってやり遂げることができるよう力を培うということを主なねらいとしています。また、仕事をする上で挨拶や返事、報告がしっかりとできるといことも大切ですが、よく分からないときはそのままにしないで質問する、支援を求めるということも欠かせないので、しっかりと指導していきたいと考えています。

意欲と自信

ふじみ野小学校 保護者 木村 真

私の娘にはハンディキャップがあります。そのため、私は、毎朝、娘と一緒に登校班に付いて学校に行っています。学校での娘を見ると、日々成長していることを感じるがあります。

娘は、支援学級で授業を受けていて、その内容は、娘に合わせてもらっています。それもある、入学当初は勉強という言葉に拒否感を出していたのが、今では「勉強したい」と言い出すくらい勉強への意欲を見せてくれるようになりました。

支援学級での授業以外にも交流授業で通常学級の音楽などの授業を受けたり、校内で行われる音楽発表会、持久走大会などの行事にも参加しています。持久走大会では同級生と一緒に走って、最後まで走り切ったことでやりきった時の達成感を感じることができるようになりました。今では、マラソン大会に出て走るようになり、今年の三月には、二キロの親子マラソンを走り切り、娘はさらに自信をつけ



たようです。

勉強、マラソンと多くのことに意欲的に取り組むことができるようになったのも、日々の先生方の丁寧な指導や、多くの子どもたちが支援学級の娘にも温かく接してくれていることで、楽しく学校に通うことができていることによるものと思います。

四月からは三年生、少しづつかもしれませんが一歩一歩成長していけるように、頑張る娘を見守っていきたいと思っています。



「地域を愛し、地域から愛されて：」

諏訪小学校

今年度、本校の目指す学校像は、「地域に愛される魅力ある学校」です。「諏訪小に行くとこんないいことが待っているよ」と、児童はもちろん、家庭や地域のみならずから感じていただきたい、という願いです。

本校では、「すわつ子応援団」というボランティアさんが大活躍してくださっています。児童と一緒に楽しんで活動されている英語ボランティア

アさん。ミシンが苦手な子の救世主、家庭科ボランティア。芸術的な作品のお手伝いをしてくださる図工ボランティア。ふかふかの畑に耕してくださる環境ボランティア。文字に対する的確なアドバイスをくださる書写ボランティア。そして、「大人になっても、心のこもった挨拶がしたい」と児童が憧れる安全の方々と「すわつこくらぶ」のみなさん。



児童の健やかな成長を願い活動してくださっています。その多くの方々と協力して、地域を愛し、地域から愛される諏訪小学校を目指しています。

はぐくむ

～学校・家庭・地域から～

大切なもの

東中学校 保護者 朝倉 朋栄

我が家の息子は、一人っ子のせいか「周りに左右されずわが道を行く」タイプだと言われています。よくいえばマイペースですが、悪くいえば協調性に欠けるということのようです。

そんな息子に対して、日ごろから話していることがあります。一つ目は「人を大切に」ということです。

とても便利な時代になったので、人を介さなくても買える物ができるし、仕事もできます。

けれども、うれしい時や悲しい時、困った時に頼れるのは、やはり「人」なのです。特別なことをしなくても、

○あいさつをきちんとする
○自分がしてほしいことを相手にする（自分が嫌なこととは相手にもしない）

こんなことを積み重ねながら「人財」を増やしていってもらいたいと思っています。二つ目は「自分を大切に」ということです。

人生は一度しかないのだから、投げやりになったり、失敗をおそれて動かないのはもったいない。信じた道を自分の足で歩んでほしいのです。途中で道を間違えてしまった時やつまづいてしまった時は、立ち止まったり、後戻りをしたりしてもいいのです。そのような時は、きつと自分が増やした「人財」たちが支

えてくれるでしょうから。そして私たち親は、ハラハラドキドキしながら「大切な息子」のことを静かに見守っていきたくと思っています。



「未来の自分のために」

本郷中学校

一年で職場訪問、二年で職場体験・上級学校訪問を実施し、三年の進路学習に結び付け、生徒たちの自己実現への意識と態度を高くんでいます。また、その一環として、地域で活躍する方を講師とする講演会を開催しています。昨年度は、助産師の方を講師に迎え、命と向き合う経験を通して、性教育の内容も含めて講演を頂きました。生徒た

ちは、性に関する内容に恥ずかしがりながら話に耳を傾けていましたが、母親は命を懸けて子供を産むこと、自分が親の愛情を受けて誕生したことを聞いたとき、体育館が静まり返りました。生徒たちは、親の愛情や、自分の存在そのものがかけがえのないものであることを、改めて実感したのではないのでしょうか。

今後も、生徒たちが自分自



身を見つめ、将来を考える機会となる講演会や職場体験等の啓発的体験活動を軸として、進路指導・キャリア教育の充実に努めてまいります。

教育課題特集

生きる力を

子どもを地域と大学で育てる

子ども大学ふじみ 岩村 沢也

こんにちは、私は三芳町にある淑徳大学経営学部観光経営学科の教員で、「子ども大学ふじみ」の実行委員長を務めております岩村沢也と申します。

子ども大学は、埼玉県が主導するプログラムで、現在では県下の市町村毎に大学・市町村の教育委員会・商工会議所・公民館・社協・市民ボランティアなどが「子ども大学」の実行委員会を作り、小学校の四・六年生向けに、普段小学校では学べない特別な教育プログラムを企画、実践するものです。ふるさとの歴史・産業・生活、異文化、人の生き方・感じ方、生物・環境・科学の不思議を学ぶ機会を提供しています。

注目すべきは、講師は大学の教員、企業人、NPOや地元商店の経営者と、普段小学校では、なかなか接することができない大人たちが講師を務め、大学、工場、工事現場、銀行、川の中、郷土資料館、コミュニティセンターなど小学校以外が教室になることで



平成二十三年度
「子ども大学ふじみ」
自分たちで寸劇のシナリオ
を作る学習の様子



勝瀬小

「勝瀬小は楽しいよ」～1年生を迎える会～

はくたち4年生は、運動会について紹介します。勝瀬小の1年生を迎える会は、学校生活の様子を紹介しています。「一緒に頑張ろうね！」



針ヶ谷小

「モクモクピカピカ清掃」で学校をきれいに

針ヶ谷小学校では、本年度から掃除の時間をMPS(モクモクピカピカ清掃)と名付けて、モクモクと掃除に取り組んでいます。自分たちできれいにすると考え、ピカピカにしています。

校庭の花々が色鮮やかに咲き、木々の緑が明るい日差しに輝く春。元気いっぱいの新入生を迎えて、二十六年度がスタートしました。

進学や進級をして、今、子どもたちは意欲にあふれています。新たな目標を決めて、進んで取り組もうとしたり、先輩として、下級生に手本を見せようと努力したりする姿が、たくさん見られ嬉しくなります。

そんな気持ちを、一年間大切にしてお過ごせるように、私たち教師も全力で支援していきます。

学校TODAYでは、各校の特色ある活動の様子を紹介します。生き生きと活躍する子どもたちの姿を、是非ご覧ください。



関沢小

ようこそ関沢小へ

4月11日、1年生を迎える会を行いました。各学年からのメッセージやプレゼントの後、目の前で割れるくす玉に、1年生は感激。満面の笑みを浮かべ、関沢小への仲間入りです。



西中

真剣なまなざし。今日から私たちも西中生

157名の新入生が真新しい制服に身を包み、中学校生活がスタートしました。「夢をかたち」に合言葉に、大きく成長してほしいと思います。

Ⅱ市教育相談室よりⅡ

『教育相談Q&A』

Q「あすなろ」ってどんな教室？

A「あすなろ」とは、富士見市教育相談室(富士見特別支援学校三階)に設置されている適応指導教室の名称です。この教室では、学校に行きたいけれど行けない市内の市立小・中学校に在籍する不登校児童生徒の、自立と学校復帰を支援しています。

「あすなろ」は、午前九時から午後二時半まで開室していますから、そのお子さんの状態に応じて自由に利用することが出来ます。等身大のありのままでお過ごせる居場所です。

「あすなろ」では、一人一人の不登校児童生徒の状態に合った通い方や過ごし方を本人の意思を尊重し、保護者の方ともじっくりと時間をかけて一緒に考えていきます。

また、「あすなろ」では、様々な体験活動も行っています。

〈開室期間と主な体験活動〉

一学期 四月八日から七月十一日

始業式、花の苗植え、田植え、難波田城公園内古民家での宿泊体験活動、学校給食センターでの昼食会、終業式等

二学期 八月二十五日から十二月十二日

日



水谷東小

1年生の力になろうプロジェクト

本校では、6年生が1年生のお世話をする活動をしています。徐々に1人でできるようになってくる1年生を見つめる6年生の表情がとても微笑ましいです。



諏訪小

安全な通学のために

毎朝、スクールガードリーダーさんが、子ども達の安全な登校を見守ってくれています。そして、笑顔と優しい声かけが、子ども達の元気の源になっています。



みずほ台小

協力してきれいに、縦割り清掃

みずほ台小では、縦割り班での清掃を行っています。普段とは担当場所や分担が変わりますが、班長が計画し、下級生にアドバイスしたり手伝いをしたりしながら、協力して活動します。



東中

命の授業 ～いのちは『意・望・知』～

過去から未来へつなげる命。胎児の心音を聞き、抱っこ体験を通して、子どもたちは今、未来へつなぐ命のバトンを持っていることを知ることができました。

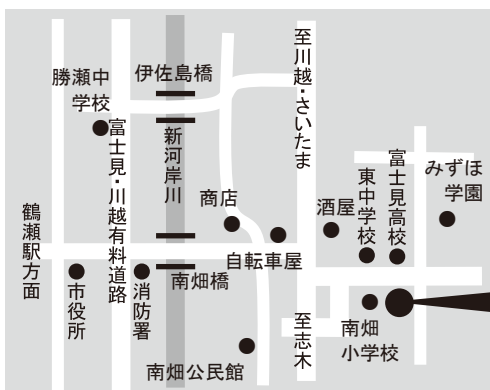
学 校



勝瀬中

新入生歓迎会

初々しい新入生を囲み、在校生が歌やダンスでおもてなし。全力で踊り歌う先生達に圧倒されながら最後は新入生も一緒に大合唱！さわやかな笑顔があふれる新入生との出会いでした。



富士見市教育相談室
(特別支援学校3階)

(担当者) 指導員 深田・佐久川

(問合せ) 富士見市教育相談室
TEL 049-253-5313

始業式、稲刈り、としまえんへの遠足、おにぎりパーティー、クリスマスパーティー、終業式等
三学期 一月八日から三月六日
始業式、避難訓練、餅つき、感謝の集い、通室証書授与式等
以上のような体験活動の他、お子さんの状態や気持ちを十分に配慮しながら徐々に学校復帰に向けた様々な取組を行っています。
通室を希望する方は、担任の先生に申し出ていただくか、本室まで直接ご連絡ください。

教育委員会だより

《平成 26 年度富士見市教育行政方針》

- I 学びあい、高めあい、夢と希望をはぐくむ教育の推進
- 1 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導による学力の育成
 - 2 人との交流や感動体験を通した豊かな心の育成
 - 3 自ら健康・安全を守る資質・能力と健やかな体の育成
 - 4 地域の教育力を生かし教育効果を高める学校教育の推進
- II 学びあう地域社会をめざす教育の推進
- 1 家庭・地域の教育力の向上
 - 2 生涯にわたる学習機会の提供と学びのネットワークの推進
 - 3 学びあう地域社会を創る活動の推進
 - 4 市民の暮らしとまちづくりに役立つ読書活動の推進
 - 5 郷土遺産の継承と文化芸術の振興
 - 6 誰もが親しめる生涯スポーツの推進
- III 組織の総合力を生かした教育の推進

平成 26 年度の学校教育だより「きんもくせい」の編集委員の先生方をお知らせします。今年度も富士見市の教育理念「人間尊重」の教育を基本とし、その実現を求めて編集に携わっていただきます。よろしく願いいたします。

《編集委員長》	忽 滑 谷 美 恵 子	(つるせ台小学校校長)
《編集副委員長》	山 崎 美 晴	(関沢小学校教頭)
《編集委員》	大 畠 仁	(針ヶ谷小学校主幹教諭)
	富 田 香 織	(勝瀬小学校教諭)
	福 井 智 子	(富士見台中学校教諭)
	高 原 剛	(水谷中学校教諭)
	高 橋 知 雄	(富士見特別支援学校教諭)

☆運動会(体育祭)♪音楽会(合唱祭)等の日程

学 校 名	運動会等	雨天の場合	♪音楽会等
鶴瀬小学校	9月20日(土)	9月25日(木)	11月 8 日(土)
水谷小学校	9月20日(土)	9月22日(月)	11月 8 日(土)
南畑小学校	9月20日(土)	9月24日(水)	11月13日(木)
関沢小学校	9月27日(土)	9月30日(火)	11月 7 日(金)
勝瀬小学校	5月31日(土)	6月 3 日(火)	11月 7 日(金)
水谷東小学校	9月20日(土)	9月25日(木)	11月 8 日(土)
諏訪小学校	5月17日(土)	5月21日(水)	11月 8 日(土)
みずほ台小学校	9月20日(土)	9月21日(日)	11月 7 日(金)
針ヶ谷小学校	5月31日(土)	6月 3 日(火)	11月 1 日(土)
ふじみ野小学校	5月31日(土)	6月 1 日(日)	11月 8 日(土)
つるせ台小学校	9月27日(土)	9月28日(日)	11月 1 日(土)
富士見台中学校	5月18日(日)	5月22日(木)	10月30日(木)
本郷中学校	5月17日(土)	5月20日(火)	10月29日(水)
東中学校	5月24日(土)	5月29日(木)	10月31日(金)
西中学校	5月24日(土)	5月27日(火)	11月 7 日(金)
勝瀬中学校	5月24日(土)	5月28日(水)	10月28日(火)
水谷中学校	9月13日(土)	9月16日(火)	11月10日(木)
富士見特別支援学校	5月24日(土)	5月25日(日)	11月22日(土)

「あの子たちとまた一緒にやれる。」すぐに児童たちの顔が思い浮かびました。本年度受け持つ学年が決まったたきのことです。



頼もしくなった五年生

水谷東小学校 伊藤 瑞祥



新五年生は、二年生のときにも担任した子どもたちです。運動会の練習をがんばったこと、生活科見学に行ったこと、九九をみんなでがんばって覚えたこと、大縄跳びの特訓をしたこと……。たくさん思い出でいっぱいです。年度末に書いてくれた感謝の作文は、今でも宝物の一つです。

先日、新通学班名簿を作成していたとき、班長や副班長に新五年生の名前がたくさん載っていて、「あの子たちもいよいよ高学年なんだな。」と成長の早さを感じました。始業式の日、教室には懐かしい顔が揃いました。どの子

全体のためにみんなを引っ張っていかねばなりません。そのため、多くのことを学びながら、「進んで取り組む態度」「下級生への思いやり」「高学年としての自覚」などの力を高めていくことが必要です。

高学年は、大変なことも多いですが、あれからさらに成長してきたこの子どもたちなら、きつと乗り越えてくれると信じています。子どもたちのこれからの成長が楽しみです。

編集日記

「整理整頓」の意味の違いをご存じだろうか。「整理」は、要るものと要らないものを分けて、要らないものは捨てること。「整頓」は、要るものを使いやすく並べることであるという。最近では、「断捨離」などの言葉も多くつかわれ、生活はもっともっと、心の持ちようまで影響するといわれる。

日本の学校教育の中の「掃除」が、海外の学校でも注目されている。掃除の効果は大きく、「常に教室が整理されていて清潔な教室の学級は崩壊しない」確かに私の経験からも、教室の椅子や机が整然と配置されている環境には子ども達の心が現われているように思う。掃除がもたらす様々な効果も大きいようだが、掃除が嫌いという子も多いのが現状である。掃除を「やらされている」と苦行にするのではなく、掃除の力で居る場所をきれいにし、「気持ちよい」「心がすっきり」などの経験を重ね、勤労観を養い必要性を感じさせたい。

掃除の効果は、精神的効果、肉体的効果、経済的效果、時間的效果、対人関係効果があり、家庭でも企業でも注目されているようだ。

新学期が始まり学習環境が安全安心であるためにもきれいな場所は自らの力で。

(忽滑谷)